



みんなで「あつまり」「つながり」
「活躍する」ためのホットな情報
をお届け！

発行：甲府市協働支援センター

国母地区では、自治会連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、福祉推進委員会の4団体が協力して地域住民が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、『福祉のまち』の実現を目指して『たすけ愛「国母」』を組織して地域活動を展開しています。活動の様子取材しました。

甲府市国母地区 たすけ愛「国母」



将来も安心して生活できる仕組を

国母地区では、地域住民が主体となって『ゴミ出し』『買い物代行』『草取り』『室内の軽作業』などのちょっとした困りごとや話し相手など、元気な高齢者や登録したサポーターが支援し、助け合って生活する有償ボランティア活動を展開しています。

これは、『生活支援体制整備事業』による地域（まち）づくり事業です。高齢者にフォーカスし、介護予防と高齢者の社会参加の推進などを目的に、多様な主体が連携し、地域住民が主体となってボランティアを集い「地域のコーディネーター役」として活躍するまちづくりを実践しています。

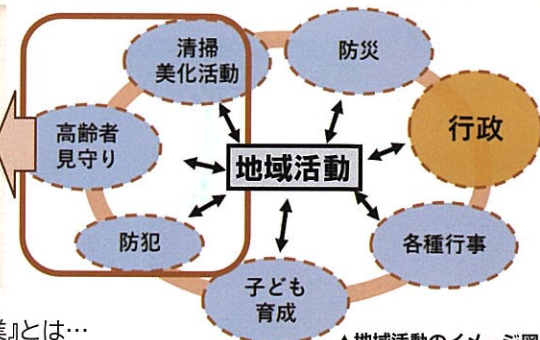
地域活動は多様な主体が分野別で活動をしている。

「たすけ愛「国母」」

高齢者支援を目的
連携し、
『協議体』として活動

『生活支援体制整備事業』とは…

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って暮らせるよう、地域住民や関係各種団体と連携して生活支援などの促進や充実を図る事業。



▲地域活動のイメージ図

『協議体』とは…

地域の課題などについて、関係する多様な主体が集まり、情報を共有し連携して、課題解決に向けて取組んでいくための仕組みを持った組織。



利用者とサポーターさんの感想



90代の女性
(利用者)

「先日、切れた電灯の付替えをお願いした」Nさんは『たすけ愛「国母」』を活用しています。「ちょっとした困りごとを助けてくれたり、有価物で大きなゴミ出しをしてくれたり、私が元気かどうか心配してくれたりして助かる」とのこと。月1・2回程度のペースで制度を利用しており、Nさんはたすけ愛「国母」があるので安心して生活できるとの感想を話してくれました。『この制度の存在が地域にもっと知られて、顔の見える関係性が強くなればよい』とのこと。



70代の男性
(サポーター)

「民生委員を経験したのがきっかけで、地域に貢献したいと思い活動をはじめた」こう語るサポーターのSさん。「母親が元気でいれば90歳だった。親をサポートするつもりで活動している」と言います。「ボランティアは一人だと恥ずかしいけど、皆で協力して無理をせず楽しく活動している。支援している人に笑顔で感謝されるのがうれしい」との感想も話してくれました。『この活動が他の地区へも波及すれば、皆が住みよいまちになる』と力強く語ってくれました。

フォーカス人 密着 協働のまちづくりコーディネーター

協働推進課では、住民主体による地域課題の捉え方や解決に向けた取組の進め方と旗振り役の養成を目的に、令和3年度より『まちづくりコーディネーター育成講座』を実施してきました。今回は、令和5年度に講座を受講・修了してコーディネーターとなり春日地区で活躍する岩下摩紀さん取材しました。活動の一部をご紹介します。



まちづくりコーディネーターの岩下さん。講座を受講したきっかけは、自身が生活している地域の少子高

齢化と人口減少でした。地域活動の停滞を目の当たりにし、この先10年以内に地域活動は深刻な状況に陥ってしまうと肌で感じています。地域を盛り上げたいと考えている方と自治会を結びつけ、新しいアイデアを地域活動に活かし、これからの時代に合ったまちづくりを進めていきたいとの思いで活動しています。



活動にフォーカス 会議編



春日地区の古民家旧鈴村邸の活用について、自治会長、オーナー、山梨県立大学の先生などを交え、岩下さんが議長となり、どんなイベントで地域と関わっていくのが良いのか方策を話し合い整理しているところです。



活動にフォーカス イベント編



春日地区を盛り上げる新たなイベント「夜灯(よとぼし)ペットボトルランタン点灯」が実施されました。イベント協力団体を集い、地区夏祭りではPRを兼ねて企画を周知する専用ブース設置の手配もしました。

あつ活サポーター『甲斐縁隊』地域活動を支援

相川地区では毎年『ふれあい夏祭り』を開催しています。今回、あつ活サポーター団体として登録している学生ボランティア団体の『甲斐縁隊』が、子ども縁日の運営を支援しました。支援内容は、縁日に来場した方々の受付業務です。この夏祭りは自治会をはじめ地域の各種団体が『協議体』を作って毎年開催していますが、運営の担い手が減ってきています。これまでと同規模での開催を維持していきたいとの地域の各種団体の意向から、昨年度に引き続き、あつ活サポーター団体登録制度を活用しました。地域からは、「担い手が少ない中で助かった」「来場した子ども達とも一緒に遊んでくれて喜ばれた」などの感想がありました。

▲お祭りの受付を支援する甲斐縁隊の学生

※ 詳しくはこちらから▶



令和7年度 甲府市協働のまちづくり懇話会

学識経験者や公募による市民など7名の方に、樋口市長から懇話会委員として

委嘱されました。現行の「甲府市協働のまちづくり第3期推進行動計画」の検証と次期行動計画の策定に向け、委員の皆さんから意見をいただきました。

※ まちづくり懇話会の詳しい内容などはこちらから▶



協働支援センター 研修情報

情報を発信しよう! 魅力あるチラシの作り方講座

日時 12月18日(木) 午後1時30分～4時
内容 チラシ作りのコツやパソコンでの作成方法を学びます
対象 地域で活動している各種団体役員や広報担当の方など
定員 12名(先着順)
持ち物 ご自分のパソコンを使って受講したい場合はパソコン
申込方法 12月16日(火)までに電話で(☎055-231-5537)

※12月1日(月)午前10時から受け付けを開始します。

8月には、地域活動での会計担当者向け研修としてExcelを活用して会計簿を作成する実践講座を開催しました。協働推進課に職場実習に来た大学生3人もお手伝いしてくれました。※ 詳しくはこちらから▶

